

5 農村社会とくらしについて



新しく農業を始めるということは、同時に農村に移り住み農村でくらすことを意味します。

農村社会の特色

農村では、農業用水や農道の利用・管理に伴う共同作業など、直接、営農に関することや、農村特有の行事や慣習などにも参加協力しなければなりません。いわゆる“むらづきあい”と言われるものですが、個人の意識が発達している都会から来る人には、それに慣れないことが多いようです。

地域の行事に参加し溶け込むことで、むらの人とのふれあいや、お互いに情報交換もできるので、都会とひとあじ違った人情味あふれる生活ができます。

農業は自分一人ではできませんので、むらの農業者のお世話になることが多くあります。とにかく、信頼関係を築き上げていくことが大切です。

農村社会でどのように暮らしていくかも新規就農にあたって重要なことです。

農村の生活環境

①住宅

町内の賃貸住宅の数は、あまり多くありません。アパートや公営住宅は、空きがあってもすぐにふさがってしまいます。また、農業をする場合は、農機具や農産物を収納する倉庫が必要となりますので、アパートよりも農家住宅の一戸建てが望ましいといえます。

町営住宅・県営住宅・雇用促進住宅に関するお問い合わせは、町営（芳賀町都市計画課都市計画係 T E L . 028-677-6020）、県営（栃木県住宅供給公社 T E L . 028-626-3198）、雇用促進住宅は、(財)雇用促進協会東京支所 T E L . 03-5600-9035にお問い合わせください。

②上水道

町内全域で整備されていますが、一部の地域では自家水道のところもあります。

③下水道

農業集落排水事業で整備されている地域もありますが、公共下水道は未整備です。現在、合併浄化槽が設置されてきていますので、水洗化も進んでいます。

④車

日常生活において必需品と言ってよく、農家では数台持っています。

⑤病院

町内の一般診療所は町内に7カ所あります。また、近隣の真岡市には救急指定病院が2カ所あります。

町内：芳賀中央クリニック（上延生）、松谷内科胃腸科クリニック（祖母井）、矢吹医